

別表第1（第5条関係）

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	都市計画マスタープラン策定事業							
担 当 課 係 名	都市整備課		課	都市整備係	作成者	築田 正		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち				総合計画の ページ		
	基本計画	都市計画や適正な土地利用の推進						
	主要施策	都市計画マスタープランの策定				85		
予 算 費 目	一般	会計	8 款	土木費	4 項	都市計画費	1 目	総務費
事 業 期 間	平成 19 年度 ~ 平成 20 年度				新規／継続の区分		継続	
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理							
根 拠 法 令 等	都市計画法							
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☒ 民間委託(全部) ☐ 補 助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	都市計画区域内の他、仙北市行政区域全域。
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	概ね20年後（平成40年）の仙北市行政区域全域の都市計画の基本的な方針を示す。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	民間コンサルタントに委託してプランを策定する。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	策定関係会議開催回数 （策定委員会、地域懇談会 庁内検討委員会）	目標	回		8	11	
			実績	回		8	11	
			達成度	%		100.0%	100.0%	
	成果指標	会議出席者（委員）数	目標	人		114	162	
			実績	人		76	98	
			達成度	%		66.7%	60.5%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)					16,960	11,741	
	人 件 費 (B)		—			2,502	2,140	
	職 員 数		—			0.31	0.27	
	職 員 平 均 人 件 費		—			8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト					19,462	13,881	
	財源内訳	国 庫 支 出 金					16,800	11,550
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源					2,662	2,331
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—			2,432,750	1,261,909
市民1人当たりのコスト(円)		—			619	447		

【事務事業の今までの成果】

委託により都市計画マスタープランを策定し、都市づくりの方向性や根拠を示す総合的な指針を確立。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	都市計画区域を有するほとんどの自治体で策定が進んでいる。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	市民参加で創意工夫により描かれた将来の仙北市の姿を、市民と行政が共有し協働で推進する。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
E	A 現状のまま継続（実施）	都市計画マスタープランはH19、20で策定完了した。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

概ね5年毎の計画の見直しを視野に入れ、今後の仙北市の都市づくりの指針として活用する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
E	(マスタープラン策定完了により事業を終了)

一次評価診断図

